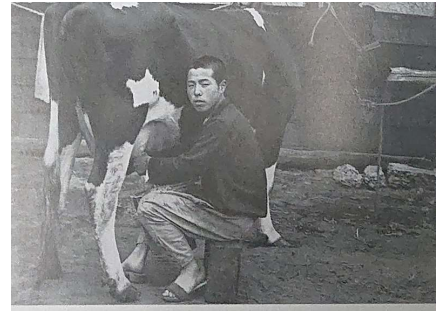


## なっちゃん隊 深掘りレポート Vol. 6 乳搾り

NHK朝ドラ「なつぞら」で広瀬すずさん演じる主人公“なつ”。酪農一家の柴田家で、一生懸命、牛馬の世話や乳搾りを手伝っていますね。

さて、今回は、「乳搾り」について、振興局なっちゃん隊が調べてみました。



牛乳は今から5000年ほど前には既に飲用されていたそうです。今のように牛の横から搾乳するのではなく、人が牛の後側に回って搾乳していたとのこと。ドラマでも紹介されていましたが、母牛が仔牛を産んで出すのが牛乳。母牛の母性を上手く利用するため、傍らに仔牛を連れて来て搾乳を行っていたそうです。



4つの乳房を持つ牛を手搾りのみで搾乳することは何とも気の遠くなる作業。ちなみに、現在は、分娩直後の初乳を搾る時や搾乳前のストリップング（乳房炎の確認や乳の出を良くするための前搾り）の際に手搾りが行われています。手搾りは、親指と人差し指で輪を作ってすぼめ、中指、薬指、小指と上から順々に圧力をかけていくと乳が出るそうですよ。

十勝では、毎月約10万t（1000mlパック1億本分）の生乳が生産されていますが、機械化が進んだ現在では、人がいなくても搾乳ロボットなどが自動で搾っています。



普段何気なく飲んでいる牛乳ですが、先人たちの苦勞に思いを馳せながら飲んでみると、また違った味がするかもしれませんね。

